

令和9年4月から

宇陀市 園小中一貫教育
がスタートします。

宇陀市教育総務課

令和8年5月

園小中一貫教育とは？

幼児期から義務教育終了まで、子どもの発達段階に応じた途切れのない教育を行います。



12年間の連続した学び

幼児期から義務教育終了までの学習や指導を滑らかに繋ぎ、一人ひとりの確かな学力と豊かな心を育てます。

小1プロブレム 中1ギャップの解消

進学時の環境変化による不安を和らげ、子どもたちが安心して自己発揮できる環境を整えます。

異年齢での豊かな交流

幅広い年齢の子どもたちが関わり合うことで、思いやりの心やリーダーシップ、社会性を育みます。

宇陀市がすすめる「施設分離型」

宇陀市では、園、小学校と中学校を一つの施設にまとめずに、それぞれ独立した施設を活用し、連携を深める「施設分離型」で一貫教育を進めます。

- **これまでどおりの通園・通学スタイル**

園小中学校を一つの施設にまとめずに、子どもたちはそれぞれの園や学校の環境で安心して通園・通学しながら、一貫した学びを受けられます。

- **先生たちの積極的な連携**

小・中学校の先生が合同で研修を行うなど、指導の質を高め合います。

- **合同行事や交流活動**

幅広い年齢の子どもたちが一緒に取り組む行事や交流を通して、豊かな人間関係を築きます。



— 宇陀市の教育目標 —



夢をもって自ら行動し、
たくましく生きる宇陀っ子の育成



目指す子ども像



主体的に学び行動する子



地域に愛着を持つ子



自分も人も大切にする子

園小中一貫教育 指導の3つの重点

宇陀市が大切にしている、これからの教育の3本柱をご紹介します。

指導の3つの重点



1. UDAスタンダードの推進



2.アントレプレナーシップ教育の視点
を取り入れた保育・学習



3. 系統化された人権教育の推進

重点1 UDAスタンダードの推進

「UDAスタンダード」を柱として、学習目標を明確にし、子どもが自分で考え、他者と対話しながら深く学ぶ授業を展開します。

- 学習目標の提示（めあてを明確に）
- 自分で考える活動（じっくり向き合う）
- 交流する活動（考えを深め合う）
- 振り返る活動（次につなげる）



重点3 系統化された人権教育の推進

子どもたち一人ひとりの自尊感情を高め、「自分も人も大切に作る心」を育成します。

保育園、こども園、小学校、中学校の枠組みを超えて、発達段階に応じた連続性のある系統立てた人権学習を推進し、多様性を尊重する態度を養います。

